

認証プロセスと結果概要

ギャップ分析9/22-11/26

認証：①初動審査1/20-1/21 ②本審査2/17-19

☆計画 ★実績

活動項目			平成26年度										
			7	8	9	10	11	12	1	2	3		
試行 認証	ギャップ分析	組織の仕組みと規格とのGAPを明らかにする			★ 9/22	★ 10/6	★ 11/12 11/26						
	組織によるギャップ改善	改善活動			↓ ↓ ↓			改善活動 →					
	力量確保	教育			★ 10/9 規格の理解 10/31 内部監査								
	認証 (ISO/IEC17021準拠)	第1段階審査 (初動審査)							★ 1/20-21				
		第2段階審査 (本審査)									★ 2/17-19		

認証の準備(力量の確保)

ISO55001規格の理解

- 10月9日にISO55001規格の理解研修会の開催
- 規格の箇条毎に解説し、演習により習得

内部監査員の育成

- 10月31日に内部監査員を育成する研修会の開催
- 内部監査について解説し、演習及びテストにより習得

演習1:チェックリストの作成

演習2:ケーススタディによる不適合の指摘

演習3:是正報告書の作成



認証プロセスと関係する内容

ギャップ分析

- マネジメントシステムの準備、構築内容と、ISO55001規格の要求事項とのギャップを明確にするプロセス
- 4回実施し、「ギャップ分析報告書」を提出

認証のプロセス

－ 第1段階審査

- 第二段階審査に進めるかどうかを確認
- 第二段階審査で不適合が懸念される事項の抽出

－ 第2段階審査(本審査)

- 不適合と改善の余地の確認
- 不適合についてはA(重大)、B(軽微)を区別

J A Bパイロット認定

- JABパイロット認定の立会審査として実施

審査手順（第2段階審査（本審査））の概要

審査（本審査）の手順

- オープニングミーティング
 - ✓ 第一段階審査後の取り組み状況
- トップマネジメントインタビュー
 - ✓ トップマネジメントによるリーダーシップの意思表示などの確認
- 審査
 - ✓ 仕組みの審査（相手：推進責任者）
 - ✓ 内部監査に対する審査（相手：内部監査責任者）
 - ✓ 部門審査（相手：部門責任者）
- 審査チームによる所見作成
- 所見の妥当性協議（相手：推進責任者）
- クロージングミーティング
 - ✓ 審査結果の報告、所見内容の報告

本審査プログラム(愛知県)①

アセットマネジメントシステム 本審査計画書

<ul style="list-style-type: none"> ● 愛知県 建設部下水道課 及び尾張建設事務所尾張流域下水道出張所 公益財団法人 愛知水と緑の公社 下水道部 管理課 及び五条川左岸・新川東部・新川西部事業所 ● 代表者 : 愛知県建設部長 市川 育夫 様 ● 適用範囲: 五条川左岸・新川東部・新川西部 流域下水道における 処理場及び計測点施設にかかる管理運営事業 ● 審査工数 : 7.5MD 	<p>アセットマネジメントシステム (AMS)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 適用規格 : ISO 55001:2014 ● 目的 : ISO 55001 アセットマネジメントシステム規格への適合性審査 ● 審査機関 : (株)日本環境認証機構 ● チームリーダー : 星之内 進 メンバー : 丸山 眞弘、中川 和三
--	---

2015年2月17日(火)

	Aコース:星之内 進	Bコース:丸山 眞弘	Cコース:中川 和三
	【 愛知県三の丸庁舎 】 (8階802会議室)		
10:00	オープニングミーティング * トップマネジメント ご挨拶 * 審査の進め方説明 * AMS運用状況の説明 <トップマネジメント、関係者>		
10:30	初動審査の所見事項への対応の確認 <管理責任者、事務局>		
12:00	昼休み/審査レビュー		
13:00	(8) パフォーマンス評価 (マネジメント) 9.2 内部監査 9.3 マネジメントレビュー <内部監査責任者、管理責任者、事務局>		
14:30	(1) 組織ビジョンの確認 <管理責任者、事務局> 4.1 組織及びその状況の理解 4.2 ステークホルダーのニーズ及び期待の理解 (2) アセットマネジメント方針の策定 5.2 方針 (3) アセットマネジメントシステム構築のための組織整備 5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.3 組織の役割、責任及び権限 (4) アセットマネジメントシステムの構築 4.3 アセットマネジメントシステムの適用範囲の決定 4.4 アセットマネジメントシステム 6.1 アセットマネジメントシステムのためのリスク及び機会に取り組む行動 6.2.1 アセットマネジメントの目標 (5) アセットマネジメント計画の策定 6.2.2 アセットマネジメントの目標を達成するための計画策定 8.3 アウトソーシング 7.5 情報に関する要求事項 (9) 改善 10.1 不適合及び是正処置 10.2 予防処置 10.3 継続的改善 (10) 支援要素 7.1 資源 7.2 力量 7.3 認識 7.4 コミュニケーション 7.6 文書化した情報の管理		
16:30	レビューミーティング		
17:00			

本審査プログラム(愛知県)②

2015年2月18日(水)				
	Aコース:星之内 進	Bコース:丸山 眞弘	Cコース:中川 和三	
9:00	【 五条川左岸浄化センター 】			9:00
モーニングミーティング				
9:10	<公社:五条川左岸事務所> (4) アセットマネジメントシステムの構築 6.1 アセットマネジメントシステムのための リスク及び機会に取り組む行動 6.2.1 アセットマネジメントの目標 (5) アセットマネジメント計画の策定 6.2.2 アセットマネジメントの目標を 達成するための計画策定 8.3 アウトソーシング 7.5 情報に関する要求事項 (6) アセットマネジメント計画の実施 8.1 運用の計画策定及び管理 8.2 変更のマネジメント (7) パフォーマンス評価(プロセス) 9.1 モニタリング、測定、分析及び評価 (9) 改善 10.1 不適合及び是正処置 10.2 予防処置 10.3 継続的改善 (10) 支援要素 7.1 資源 7.2 力量 7.3 認識 7.4 コミュニケーション 7.6文書化した情報の管理	<県:尾張流域下水道事務所> (4) アセットマネジメントシステムの構築 6.1 アセットマネジメントシステムのための リスク及び機会に取り組む行動 6.2.1 アセットマネジメントの目標 (5) アセットマネジメント計画の策定 6.2.2 アセットマネジメントの目標を 達成するための計画策定 8.3 アウトソーシング 7.5 情報に関する要求事項 (6) アセットマネジメント計画の実施 8.1 運用の計画策定及び管理 8.2 変更のマネジメント (7) パフォーマンス評価(プロセス) 9.1 モニタリング、測定、分析及び評価 (9) 改善 10.1 不適合及び是正処置 10.2 予防処置 10.3 継続的改善 (10) 支援要素 7.1 資源 7.2 力量 7.3 認識 7.4 コミュニケーション 7.6文書化した情報の管理	Aコースを分担	
12:00	昼休み/審査レビュー			12:00
13:00	午前の続き 五条川左岸浄化センターの現場審査を含む	【新川東部浄化センター】 移動途中に計測点施設(2ヶ所)も確認 (6) アセットマネジメント計画の実施 8.1 運用の計画策定及び管理 8.2 変更のマネジメント (7) パフォーマンス評価(プロセス) 9.1 モニタリング、測定、分析及び評価 (五条川左岸浄化センターに移動)	【新川西部浄化センター】 移動途中に計測点施設(2ヶ所)も確認 (6) アセットマネジメント計画の実施 8.1 運用の計画策定及び管理 8.2 変更のマネジメント (7) パフォーマンス評価(プロセス) 9.1 モニタリング、測定、分析及び評価 (五条川左岸浄化センターに移動)	
16:00	レビューミーティング			
16:30				

本審査プログラム(愛知県)③

2015年2月19日(木)

Aコース:星之内 進		Bコース:丸山 真弘		Cコース:中川 和三		
【 県 庁 】		三の丸庁舎8階801会議室				
9:00	トップマネジメントインタビュー(建設部長室)				〈トップマネジメント、関係者〉	
9:30	モーニングミーティング				〈管理責任者、事務局、他〉	
9:40	〈公社:下水道部管理課〉		〈県:下水道課〉		Aコースを分担	
	(4) アセットマネジメントシステムの構築 6.1 アセットマネジメントシステムのための リスク及び機会に取り組む行動 6.2.1 アセットマネジメントの目標 (5) アセットマネジメント計画の策定 6.2.2 アセットマネジメントの目標を 達成するための計画策定 8.3 アウトソーシング 7.5 情報に関する要求事項 (6) アセットマネジメント計画の実施 8.1 運用の計画策定及び管理 8.2 変更のマネジメント (7) パフォーマンス評価(プロセス) 9.1 モニタリング、測定、分析及び評価 (9) 改善 10.1 不適合及び是正処置 10.2 予防処置 10.3 継続的改善 (10) 支援要素 7.1 資源 7.2 力量 7.3 認識 7.4 コミュニケーション 7.6文書化した情報の管理		(4) アセットマネジメントシステムの構築 6.1 アセットマネジメントシステムのための リスク及び機会に取り組む行動 6.2.1 アセットマネジメントの目標 (5) アセットマネジメント計画の策定 6.2.2 アセットマネジメントの目標を 達成するための計画策定 8.3 アウトソーシング 7.5 情報に関する要求事項 (6) アセットマネジメント計画の実施 8.1 運用の計画策定及び管理 8.2 変更のマネジメント (7) パフォーマンス評価(プロセス) 9.1 モニタリング、測定、分析及び評価 (9) 改善 10.1 不適合及び是正処置 10.2 予防処置 10.3 継続的改善 (10) 支援要素 7.1 資源 7.2 力量 7.3 認識 7.4 コミュニケーション 7.6文書化した情報の管理			
11:00	再確認を要する事項の審査				〈管理責任者、事務局、他〉〈審査員〉	
12:00	昼休み / 審査レビュー					
13:00	所見報告書の作成 所見事項の説明・協議及び合意					
15:30	クロージング・ミーティング(建設部長室)		* トップマネジメントご挨拶		〈トップマネジメント、関係者〉	
16:00						

審査の状況(愛知県)



トップインタビュー(県庁)



部門審査



部門審査



部門インタビュー

結論

- 組織のアセットマネジメントシステムは規格要求事項に適合していると判断
- 3件の「改善の余地」を指摘

審査結果概要

下水道処理場施設に対する「県と公社」一体になった管理運営事業

- 愛知県建設部長をトップマネジメントとし、「愛知県 下水道課」「愛知水と緑の公社 下水道部」が一体となったマネジメントシステムを構築
- リスク評価と優先度評価の手法を運用し、「長寿命化計画」などを作成
- 「設備台帳データベース」を継続的に改善し、運用管理の有効なツールとして活用
- 内部監査、マネジメントレビューの実施によりマネジメントサイクルが機能

今回の認証の特徴点

- アセットオーナーである「愛知県下水道課」と維持管理の主体業務を進める「水と緑の公社 下水道部」の“一体運営”のモデルとして、「明確な役割分担及び良好なコミュニケーション」を確認し、認証授与した。
- JABのパイロット認定の具体的な案件として実施し、適切な審査実施を確認した。